

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.17 (2017.8.28)

平成29年度スローガン
おかげさまで140周年！新たな飛躍への一步！
みんなで目指す顧客感動経営
Improve Customer Loyalty
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

当社の事業の中に数年前にコンクリート事業部として独立させたコンクリート補修事業があります。今から15年前の2002年、丁度日韓ワールドカップが開催されていた時期にドイツのsto社を訪問しました。コンクリート先進国であったヨーロッパでは当時すでにコンクリート構造物の補修事業が立ち上がっており、sto社はEU全体のおよそ40%のシェアを保有しておりました。「いずれ近い将来日本もコンクリート補修の時代が必ず来る」と信じた私は、すぐに協会に入会の手続きをしました。しかしながらその時代はなかなか来ず、経費だけが掛かり続けるという最悪の月日が過ぎ去ってしまいました。初めて仕事を受注したのが8年後の2010年、仙北地域振興局発注の五十曲スノーシェッドの補修工事でした。

8月4日秋田市にぎわい交流館AUにおいて、『コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム2017』が開催されました。秋田大学高橋准教授による第一部講演の後、第四部の講師として下枝博之社長が（StoCretec Japan株式会社、株式会社ナスキー、株式会社和賀組）を代表する形で乾式吹付工法について講演しました。これは一般社団法人コンクリートメンテナンス協会東北支部が主催したもので、会場には国土交通省、秋田県、市町村、設計コンサルタントなど100名程が参加し最新の技術動向が紹介されました。



以前ある会議での席上、古くから当社を知るある県庁の幹部の方が、「和賀組さんは昔、全県をまたにかけて橋梁建設に携わった。現在では橋梁補修工事で県外にまで進出している」と挨拶の中で当社を紹介してくれました。「不易流行」とは守るべきものは守り、変えるべきものは時代の変化とともに変革を積み重ねていくことに他なりません。そしてこのことこそが企業存続と繁栄の礎であるということを今一度肝に銘じ、日々新たな挑戦を続けて参りたいと思っております。

湯沢七夕絵灯ろう祭り



今年も8月5～7日に開催された絵灯ろう祭りに参加しました。昨年度の作品と新作の2作品を出展し、「湯沢市観光物産協会会長賞」を受賞しました。



第二回和賀組山の日記念ゴルフコンペ開催



8月11日、第2回和賀組山の日記念ゴルフコンペが旧大森町にある羽後カントリークラブで開催されました。秋田市から参加の2名が集合時間になっても現れません。ギリギリセーフでしたが遅れた理由を聞いて爆笑、「羽後町でゴルフ場を探してた!」。思い込みとは恐ろしいものです。そんなハプニングもありましたが、晴天の下23名の参加者で大いに盛り上がりました。来年の参加をお待ちしております。優勝は高瀬電設上野社長でした!当社で建てたお家の玄関に飾ってもらえるように頼みました。

--	--